

福德岡ノ場の火山活動解説資料（平成 20 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

海上保安庁、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面に、長期にわたり火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 1）

10 日に第三管区海上保安本部が上空から行った観測によると、福德岡ノ場から半径約 50～100m の範囲に広がる乳白色の変色水とその北側に長さ約 5500m のごくうすい緑色の変色水を確認しました。なお、同海域付近に浮遊物は確認されませんでした。

福德岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が確認されており、2005 年 7 月 2 日から 3 日にかけては小規模な海底噴火が発生しています。



図 1 ※ 福德岡ノ場 変色水の状況（10 日、直上から撮影）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 4 月分）は平成 20 年 5 月 9 日に公表する予定です。

※この資料は第三管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。